

ふくしの森ステーションみすぎだより

令和6年1月号No.27

ふくしの森ステーションは“地域の何でも相談窓口”です。

- ・社会福祉協議会職員のコミュニティソーシャルワーカーが活動する地域の拠点です。
- ・地域福祉活動を支援します。また、ボランティア活動に関する相談にもお応えします。



日頃から悩んでいること、不安に感じていることがありましたらご連絡ください。また、地域のお困りごとの相談や、相談内容によっては適切な相談機関をご紹介しますこともできます。



美杉台小学校で福祉教育を行いました♪

4年生を対象に福祉教育を行いました！

1日目「ふくしとは？」㊦だんの㊧らしの㊨あわせ

ふくしとは、障がいがある人や高齢の人だけではなく、「地域に住むみんなが助け合って幸せに暮らしていくこと」ということを学びました。

2日目 講師：ぽかぽかハート・ヴィレッジ新津氏

ぽかぽかハート・ヴィレッジでは、障害者手帳を持っている人の就労支援をしています。障がいがあっても得意なことを生かしたり工夫をして、仕事をしていることを学びました。大人気のポップコーンも作って販売しています。

3日目 ポッチャ体験

埼玉県障がい者スポーツ指導者協議会の方々からポッチャのルールを教えていただき、ポッチャを体験しました。ポッチャは、パラリンピックの競技にもなっているスポーツで、障害の有無に関わらず誰もが楽しめる競技です。

4日目 講師：ヴェルペンファルマ 坂本氏

坂本さんは18歳の時に病気で視力を失いましたが、リハビリ・勉強と努力を重ねて資格を取得し現在はマッサージ師として仕事をされています。日常生活ではカラートークという福祉道具を使って色を識別しています。ふだんは白杖を使って歩道を歩いていますが、障害物があると困ってしまうそうです。お話の最後に坂本さんから『困っている人がいたら声をかけて優しくできる、カッコいい大人になってください。』というメッセージをいただきました。

5日目 福祉教育の振り返り・伝えたいこと

「ふだんのらしのしあわせ」の主人公は自分自身です。幸せになりたいという気持ちはみんな同じです。幸せは家族や多くの人に支えられていることを忘れずに、4年生の皆さんが自分の将来の夢（目標）を持って、いろんなことに挑戦していくことを楽しみにしています。



心に残ったことや感想を聞いてみました

- 🌀身近にあって周りのことに気が付かなかったけれど、これからは周りの人をよく見て、困っている人がいたら助けようと思いました。
 - 🌀障がいのある人も、普通の人とも区別はないということがわかりました。
 - 🌀福祉教育の授業は、全部心に残りました。人は一人では生きていけないということがわかりました。
 - 🌀ふくしって特別なことではなくて、身近なことだということがわかりました。
 - 🌀相手の気持ちになって共感することや、自分優先ではなく、相手の気持ちを思いやることが大事だと思いました。
 - 🌀ポッチャが楽しかったです。
 - 🌀障がいのある人でも楽しくできる「ポッチャ」というスポーツは、いいなあと思いました。
- ♡生徒の皆さんと先生から、いろんな感想を聞くことができました。5日間ありがとうございました。

社会福祉法人飯能市社会福祉協議会 ふくしの森ステーションみすぎだより
(美杉台地区行政センター内)

原則 火～金曜日(祝祭日を除く) 9:15～16:15 在室

TEL 070-7792-2426 FAX 050-3156-2236

Eメール station-misugidai@hannosyakyo.or.jp

地域福祉に関する素敵な取組みをCSW（コミュニティソーシャルワーカー）が取材・発信していきます

今回の取材先 NPO法人 奥武蔵グリーンリゾート



取材にご協力いただいた 平沼 弘 理事長

吾野地区・東吾野地区の移動支援として、地域住民が運営する、地域のための移動手段「奥武蔵らくらく交通（吾野谷住民タクシー）」を展開されている、NPO法人奥武蔵グリーンリゾートの平沼弘理事長に、活動をはじめた切っ掛けや今後の展望についてお伺いし、また、地域課題の解決に取り組む方々へ応援メッセージをいただきました！（取材したCSW：亀崎）

吾野地区と東吾野地区のこれからを自分たちで考え、自分たちで動く

今から15年ほど前の段階で、地域が限界集落になってからでは手遅れになるので、移動支援の取り組みが絶対に必要になると考えていました。その後、たすけあいあがの「移動交通部会」による「らくだ号」の仕組みづくりに参加し、そこでの経験を基に、平成26年度にNPO法人奥武蔵グリーンリゾートを設立し、平成30年度から「奥武蔵らくらく交通」（以下：ラクタク）のサービスを開始しました。

ラクタクでは「活動者に気持ちよく活動してもらう」ことを大切にしています。例えば利用は運転手が負担を感じないように事前予約制にしました。また、利用者に安心して利用してもらえるよう、各地区に運転手を配置している点も特徴です。今後はラクタクの仕組みを展開させ、吾野地区・東吾野地区の地域経済を活性化させるべく、吾野谷を周遊するエコツアーの実施を検討しています。更には、外国人観光客をターゲットにしたインバウンドの取り組みも実施していきたいと考えています。

内閣総理大臣補佐官、国土交通省がラクタクの取り組みを視察

今年11月にはラクタクの取り組みについて、内閣総理大臣補佐官と国土交通省の視察を受けました。視察先としてラクタクが選ばれたことは、この活動の先進性が評価されたからではないかと考えています。当日、視察された方々からは「みなさんの活動を応援しています」と温かいお言葉をいただきました。これは私たちにとって大きな自信となりました。

地域課題に取り組むあなたへ活動者からの応援メッセージ

地域課題の解決に取り組む場合、一部の人たちで考えるのではなく、みんなで課題を共有することがとても大切です。また、みんなが当事者意識をもち、10年後の地域像を真剣に考えることも重要です。ある程度の「型」が準備できれば、あとは皆さんの熱意次第です。移動支援はライドシェアの推進など政府の方針も日々変化しており、今がチャンスです！

「奥武蔵らくらく交通」の利用について

利用できる人	吾野地区・東吾野地区に在住の方、両地区を訪れる方（事前の利用登録が必要です）
利用できる日時	毎日・午前8時から午後6時まで（正月三が日を除く）
乗車できる場所	吾野地区・東吾野地区内（両地区外からは乗車できません）
降車できる場所	飯能市内全域、および、日高市の三つの指定医療機関
利用料金	2.9kmまで500円、以降1kmごとに100円が加算されます
利用方法	利用希望日の前日までにご予約ください
その他	運転手：国土交通大臣認定講習を受講しております 許可種別：公共交通空白地有償運送（道路運送法自家用有償運送・埼玉県交第1号）
問合せ	NPO法人奥武蔵グリーンリゾート 電話／090-2677-4362（事務局・平沼）

※ご利用に関する詳細はNPO法人奥武蔵グリーンリゾートまでお問合せください